

ビル設備科

建物の設備管理の仕事を目指す



私たちが快適な生活を送るためには、電気、水、空気は欠かせない要素です。特に、ビルなどの建物には、電気を扱う電気設備、水を扱う給排水設備、室内の温度や湿度を扱う空調設備があります。また、火災発生時に火災を知らせ、初期消火を行う消防設備や蒸気やお湯を沸かして暖房や給湯に使用するボイラー設備などもあります。ビル設備科では、建築設備についての知識・技能を習得することによって、ビル設備管理業務に対応できる人材を育成しています。



標準コース：6か月

定員
15名

開講月

4月・7月・10月・1月
(年齢制限なし)



担当テクノ
インストラクターから
Voice

ビル設備管理は、ビル設備の運転、保守、管理をする仕事で、ビル設備に含まれる全ての設備についての知識や技術が求められます。また、ビル設備に関連する資格の取得をする必要があります。第二種電気工事士、2級ボイラー技士、危険物取扱者乙種第4類は、在籍中にほとんどの方が取得を目指します。就職後は、建築物環境衛生管理技術者、第三種電気主任技術者、管理業務主任者、エネルギー管理士等の上位資格の取得を目指します。

[入所時費用]

テキスト代 ●約11,000円程度
作業服等 ●約8,000円程度

[取得可能資格]

- 小型ボイラー取扱業務に係る特別教育修了証
- 低圧電気取扱業務に係る特別教育修了証

[任意取得可能資格]

- 第二種電気工事士 ●2級ボイラー技士
- 消防設備士乙種第1類・第4類・第6類
- 危険物取扱者乙種第4類
- 第三種冷凍機械責任者



主な職種

- 施設管理 ●空調設備工事 ●電気工事士 ●設備管理
- ボイラー技士 ●設備警備 ●消防設備士 ●配管工
- ビル清掃 … 等

修了生の主な就職先

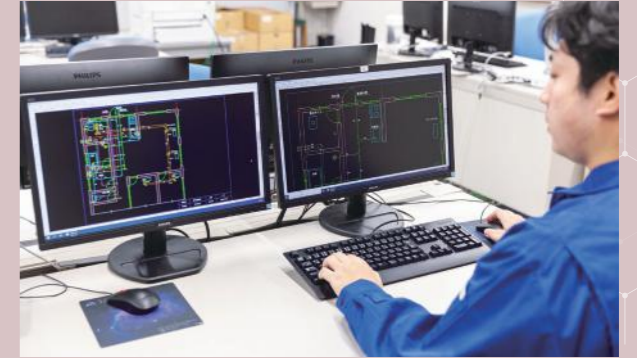
- イオンディライト(株) ●太平ビルサービス(株)
- (株)新潟県ビル管理共同公社 ●(株)新潟ビルサービス ●二幸産業(株)
- 環境をサポートする(株)さらめき ●北越警備保障(株) (順不同/敬称略)

主なカリキュラム



電気配線工事

建物にある照明やコンセントなどの電気配線についての電気回路や法令、施工技術、安全について学びます。



CAD活用技術

JW-CADを用いて基本操作から、各種コマンド練習、給排水配管図、屋内配線図など段階的に技能を習得します。



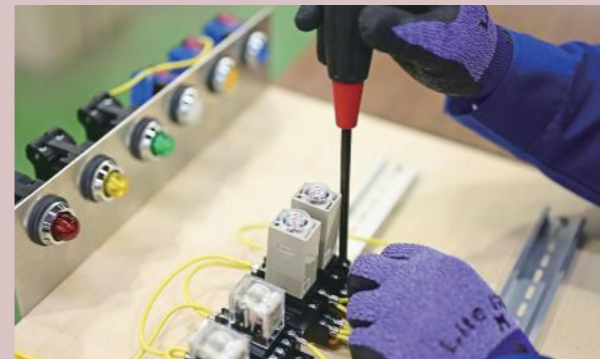
空調設備管理

室内の温度や湿度、空気清浄度などをコントロールする空調設備について、動作原理を学んだり、エアコンの据付を学びます。



消防設備

火災発生を警報で知らせる自動火災報知設備や火災の初期消火をする消火器、スプリンクラーについて、法令や機器の扱い方を学びます。



シーケンス制御

空調設備や給排水設備、ボイラー設備に使用される電気回路について、配線方法や機器の使い方を学びます。



給排水衛生設備管理

建物内で使用される水を供給する給水設備と使用した水を流す排水設備について、配管方法やトイレなどの衛生器具の取付について学びます。

受講生の声 Voice

ビル設備科：30代男性

前職は製造業をしておりました。初めてで不安でしたが、ビル管理の知識と技能を丁寧に分かりやすく教えていただきました。他の受講生と実技課題を取り組むのは大変貴重な経験になりました。資格試験では、既に取得した方からアドバイスをもらい、とても参考になりました。手厚い就職支援もあり、地元の施設管理に就職することができました。驚くほど早く6か月が過ぎました。